

# 児童引き渡し訓練を振り返って

主幹 中村 昌子

梅雨の中休みでしょうか、まぶしい日差しが連日続く中、先週本校ではプール開きとなりました。新しく改修され、きれいになったプールで元気いっぱい子どもたちが水泳の学習に励んでいます。さて、去る6月13日（金）に実施いたしました児童引き渡し訓練には、暑い中でしたが多数の皆様に参加いただきましてありがとうございました。本校の引き渡し訓練は、以前より毎年1回必ず実施してはいましたが、やや形骸化されてきたこと、また東日本大震災をきっかけにより現実に近い形の引き渡し訓練が必要であると考え、昨年度よりそれまでのやり方を一新し、訓練に取り組んでおります。今年の訓練は、公共交通機関を利用して通学している児童が多い学校として、実際に災害が発生し交通機関がマヒした場合の引き渡しの際に、長い距離を徒歩で帰るという状況が生まれることに重きをおき、徒歩での帰宅を大きな目的といたしました。昨年は、練馬区一斉防災訓練と連動し、同日に行いましたが地震発生時刻の想定が15時過ぎという時間帯でしたので、今回のように徒歩で帰ってみるという訓練が難しい状況でした。そこで今年は13時台からお迎えの時間を設定し、各家庭のご事情に併せながら徒歩での帰宅を実施していただきました。

当日は、金曜日で子どもたちの持ち帰りの荷物が多くご苦労をかけた部分もあったと思います。こちらは反省点として次回に生かしたいと思います。また、暑くなる時期でもあり、その点も次回は歩きやすい季節を考えたいと思います。（ただ、災害はどんな時期に起こるか分かりませんから、暑い時期なら何が必要かを考えてくださったご意見もありました。）

迎えに来ていただいて親子で帰る際に、大きな地図を広げどの道を通ればよいか確認してから歩き出している方、「今日は全部歩けないけど、1時間でどこまで歩けるか試してみましよう」と明確な目当てをもって歩き出している方、お迎えの時点から完全徒歩で引き取りに来ていただいている方と、ご家庭ごとの意識の高さに感謝するとともに、よい例をたくさんご紹介して情報を共有していきたいと思いました。

事後のアンケートにも多くのご意見を寄せていただき、大変有り難く、また参考になりました。最長所用時間は6時間30分の方です。完全徒歩で自宅に着かれたのは夜の9時近くになったのではないのでしょうか。本当にお疲れ様、そしてありがとうございました。アンケートにお寄せいただきましたご意見の一部をご紹介します。

**（6時間30分歩いたご家庭 1年生）**

よい経験となりました。水分補給と食事、トイレ、雨宿り場所、休憩場所等についてあらかじめ検討しておく必要があると感じました。

ランドセルに入れている「登下校中に地震が起きたらどうするか」にそって、途中駅から自宅までの道を確認しながら歩きました。建物が混み入ったところなどは危険なのでできるだけ大きく広い道路を遠回りでも歩くように指導しました。

通常の登下校ルートはバス通りで交通量が多いため、災害時は渋滞や混雑が予想された為、今回は遠回りですが、住宅地の広めの道を選んで帰宅してみました。途中塀などが老朽化し強度に心配のありそうな箇所がありましたので、要注意地点としてルートを見直しておこうと思いました。とてもよい訓練となりました。

初めて全て歩きましたが、思ったよりは近かったです。ただバス道横の歩道の幅はとても狭く歩きにくかったです。ガードレールがある所はいいのですが、途中からなくなり、電柱があると車道に入らないと歩けないので子どもに注意するよう話しました。所々古く高いブロック塀もあるので、地震の時は気をつけてねと、バスでは気付かない点がたくさんありました。通学路には上石神井北小、早稲田高等学院があるので災害時にトイレや困ったことがあるとき、たよりなさいなど話しました。全て歩いてよかったです。(学校から西荻窪方面、完全徒歩55分)

- ・ビルのガラスが散乱しそうな所、ブロック塀が倒れそうな所、大木がある所等、当日障害となりそうな箇所が分かりました。
- ・火災が起こりそうな地域を事前に把握し、避難ルートを計画する必要があると思いました。

いろいろな状況を想定し、ブロック単位での集団徒歩下校などの訓練も行うと、実際災害時に何らかの事情でお迎えに来られない家庭の児童も帰宅などがスムーズに運ぶことができたり、保護者間のつながりもできたりして、実際の災害時、助け合いができて更なる安心につながると思います。

まだまだご紹介したいご意見が多数ございましたが、今回は紙面の都合で一部をご紹介しました。お寄せいただいた意見を集約し、また別の機会にお知らせしたいと思います。ご協力の程、本当にありがとうございました。